

令和 7 年度 窯業技術研究所事業報告

1 ものづくり研究会の開催 別紙資料①

「3Dシステムを活用した製品開発」

市内企業 2 社を訪問し、3Dシステムを活用した形状デザインを提案、試作した。試作品は新春見本市で展示を行った。

愛知県立芸術大学 陶磁専攻の学生ら 9 名が参加

2 新分野開拓事業 別紙資料②

3Dシステムを活用したCAD講座の開催

- ・初級コース 9月（4回）受講者 2社
- ・3Dデザインセミナー 3月（2回）受講者 2社

講師：白川 勝悟

3 技術講座・セミナーの開催 別紙資料②

- ・染付け講座 5月～6月（9回）受講者 12名 講師：作道 裕明

骨描き、ダミの技法を使って各自のデザインによる絵皿を制作した他、各産地の窯業原料や焼成方法についても学んだ。

- ・陶磁器セミナー

「食器セルベンを使ってみよう」 9月～10月（5回）受講者 3社

食器を粉碎したセルベンを新たな原料として釉薬に使用できるのか、釉薬の調合を検討して試作を行い検証した。

講師：手島 敦（岐阜県立多治見工業高等学校 教諭）

4 食器デザイン展開催事業 別紙資料③

第30回 瑞浪市児童・生徒食器デザイン展の開催

11/8・9の「みずなみ陶器まつり」にて審査会で選ばれた137点の上絵加飾したお皿と原画を展示し表彰式を開催した。

- ・応募総数 2,007 点（小学校 1,514 点、中学校 493 点）
- ・平成 8 年(1996 年)に第 1 回を開催して今回で 30 回目の開催を迎え、「第 30 回記念賞」を設け 7 点を選出
- ・市長賞のデザインを給食食器に採用

5 依頼試験・試作業務

- ・依頼試験（粒度分析、鉛・カドミウム溶出試験、スポーリング試験）
746点（市内718点・市外28点） 試験依頼手数料 約96万円
- ・依頼試作（模型原型試作、意匠試作、CAD・CAM試作）
121点（市内41点・市外80点） 試作依頼手数料 約213万円

6 市内小中学校の授業、地域活動等の支援

別紙資料②

- ・瑞浪小学校3年生施設見学 6/25・27 125名
- ・土岐小学校3年生施設見学 10/15 48名
陶磁器製品の品質検査や3次元CADによる商品開発などの業務についての説明と招きネコの絵付け体験を行った。
域学連携事業により高校生（中京高校と麗澤瑞浪高校陶芸部）による「不思議なやきもの」の実演説明を行った。
- ・瑞浪中1年生の絵付け体験 7/10 117名 産業振興センターとの連携事業
- ・日吉公民館の陶芸作品制作支援
- ・埼玉県朝霞市、丸沼芸術の森との連携事業
「障がい者陶芸（陶芸・美術）体験教室」の上絵転写作品（お皿とマグカップ）の制作協力。作品展示会7月

7 試験機関及び各協議会等との連携

- ・東濃四試験研究機関協議会
会議 2/18、成果発表会 2/27（主催：名古屋工業大学、共催：東濃四試協議会）
- ・岐阜県陶磁器デザイン協議会
理事会・定期総会 6/25
デザイン研修会 10/23・24（丹波立杭焼、兵庫陶芸美術館 他）
- ・産業技術連携推進会議セラミック分科会
デザイン担当者会議 10/23 Web参加（あいち産業科学技術総合センター）
- ・全国公設鈹工業試験研究機関事務連絡会議
機関の現状報告と各議題への書面回答
- ・グリーンライフ21プロジェクト 定例会（岐阜県セラミックス研究所）
- ・日本陶磁器産業振興協会へ窯業技術研究所についての紹介記事を寄稿
JAPPI ニュースレター 11月号
「やきもの文化と産業を次世代に繋ぐ拠点 瑞浪市窯業技術研究所の紹介」